第2期東御市スポーツ推進計画

後 期 ア ク シ ョ ン プ ラ ン

（素案）

令和9（2027）年度~令和10（2028）年度

令和9年　月

東御市

目　次

Ⅰ　はじめに

1　東御市スポーツ推進計画の策定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2　推進計画の位置付け　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

3　推進計画の期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

4　推進計画の進捗管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

Ⅱ　後期アクションプランの策定について

1　後期アクションプラン策定の趣旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

2　後期アクションプランの期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

3　後期アクションプランの推進方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

4　後期アクションプランの概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

5　後期アクションプランの進捗管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

6　ＳＤＧｓの達成に向けた位置づけ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

Ⅲ　第２期スポーツ推進計画　前期アクションプランの検証

1　４つの基本目標の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

2　前期アクションプランにおける実施主体の具体的な取組み（事業）の評価・・・・7

3　前期アクションプランにおける各取組み（事業）の評価と方向性・・・・・・・・10

4　取組み（事業）の展開　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

Ⅳ　実施主体による具体的取組み（事業）

1　取組み（事業）の構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

2　取組み（事業）の内容（個票）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

Ⅴ　後期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート・・・・・27

Ⅰ　はじめに

１　第２期東御市スポーツ推進計画の策定

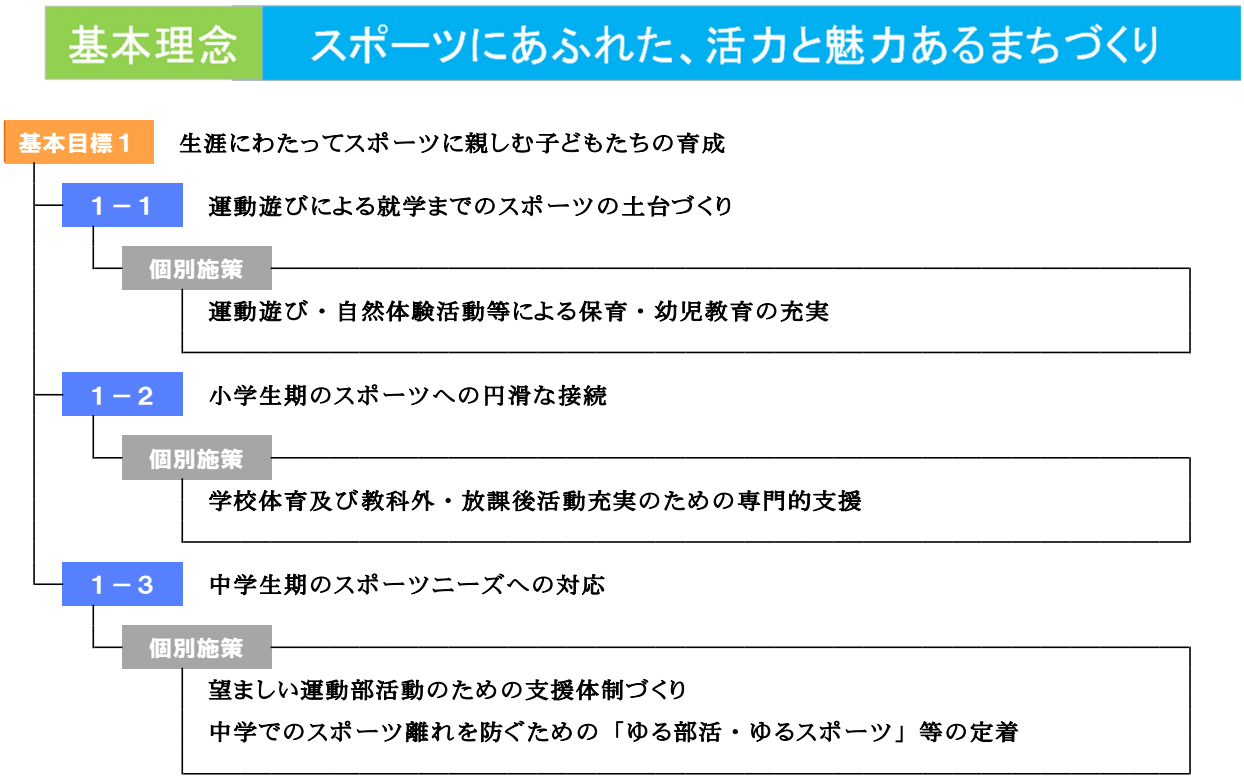
スポーツ基本法に基づく国の「スポーツ基本計画」や「長野県スポーツ推進計画」との整合を図るとともに、本市の特徴を活かしつつ、スポーツが持つ限りない力で地域の活性化を図るためのスポーツ振興施策として、令和５年度に第２期東御市スポーツ推進計画（以下「推進計画」という。）を策定しました。

この推進計画では、「スポーツにあふれた、活力と魅力あるまちづくり」と基本理念とし、「日常にスポーツがあり、人間関係と地域経済が豊かな、健康で笑顔輝くまち・とうみ」を目指す姿として、「スポーツの裾野を広げる」、「スポーツで外から誘う」、「スポーツの高みを目指す」という３つの視点から４つの基本目標を掲げ、11の施策方針ごとに個別施策を展開し目標の実現を図るものとしています。

なお、前回の推進計画（以下「前推進計画」という。）は、国の示すスポーツ基本計画に沿った形として多様な施策を策定しておりましたが、幼少期の運動遊びや自然体験活動、ボッチャをはじめとするユニバーサルスポーツ活動やスポーツツーリズムの推進など、特色を活かした東御市らしい施策に絞ることで市の基本理念や目指す姿へ向けた取り組みを重点的に実施してまいります。また、計画の策定にあたって、前推進計画において一定の成果が得られ、今後も定例的に継続していくものや、他の個別施策との統合を必要とするものについては削除及び集約いたしました。

今後は競技性の高いスポーツに留まらず、誰もが気軽に身体を動かせる機会の創出や、更にスポーツを身近に感じ、楽しむことができる環境づくりに取り組む計画としております。

図表　推進計画の体系



基本目標２ 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

２－１ 青壮年期のスポーツ活動の促進

個別施策

働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進

積極的な情報発信

２－２ スポーツ施設（ハード）の活用

個別施策

いつでも、どこでも、だれでも楽しめる場の提供

２－３ 地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実

個別施策

スポーツ推進委員活動の強化

スポーツ協会活動充実への支援

総合型地域スポーツクラブの支援

２－４ スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり

個別施策

身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実

障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツを活用した交流事業

基本目標３ スポーツによる地域経済の活性化

３－１ スポーツツーリズムの推進

個別施策

地域スポーツコミッションの支援

湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入

３－２ スポーツを活かした地域の活性化

個別施策

産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積

専門機関等とのサポート連携協定の推進

基本目標４ 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

４－１ スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続

個別施策

トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供

４－２ 高みを目指す人々への支援

個別施策

競技レベルに応じた練習環境の充実

図表　スポーツ推進計画策定における３つの視点と基本目標の位置づけ



基本目標１　生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

子どもたちが生涯を通じてスポーツに親しむきっかけとなるよう、外遊びや、学校体育、スポーツ活動への支援を行いスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

基本目標２　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

さまざまなライフステージに応じたスポーツ活動ができるよう、スポーツ機会の創出、活動の支援、それらを支える人づくりによって生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

基本目標３　スポーツによる地域経済の活性化

恵まれたスポーツ環境等を積極的に活用し、交流人口の増加を図るとともに地域経済の活性化を図ります。

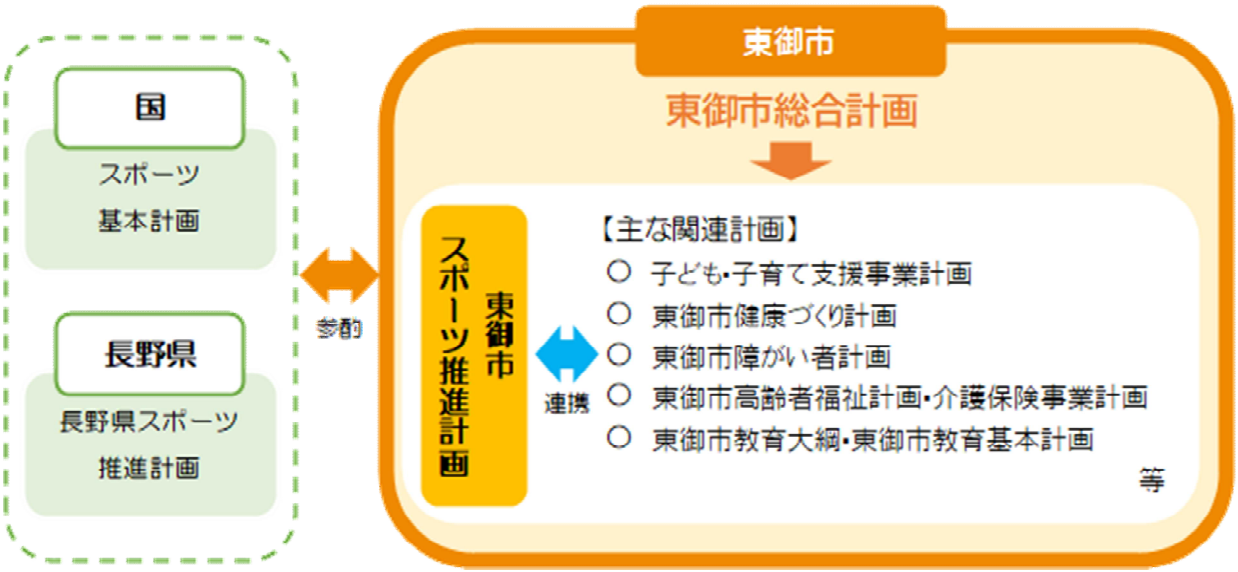
基本目標４　競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

より高みを目指す人々を支え、導く体制等を整えるとともにアスリートとの交流機会の創出を図ります。

２　推進計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条の『地方スポーツ推進計画』と位置づけ、国の『スポーツ基本計画』や長野県の『スポーツ推進計画』を尊重しつつ、『東御市総合計画』を上位計画とし、『子ども・子育て支援事業計画』『東御市健康づくり計画』『東御市障がい者計画』等との連携を図り、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示すものです。本市が目指すスポーツ施策の方向性について、庁内の関連部署と一体となった検討をする等連携を密にし、市民や関係団体等が共通認識を持ち、本計画の基本理念の実現に向け、総合的かつ計画的に取組んでまいります。

図表　推進計画の位置づけ



３　推進計画の期間

推進計画は、10年後の「目指す姿」を見据えた後半５年間の計画とし、本計画の期間を令和６年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの５年間としています。

４　推進計画の進捗管理

推進計画の円滑な推進を図るため、その進捗管理については、施策の実施状況や目標の達成状況を定期的に把握する必要があります。

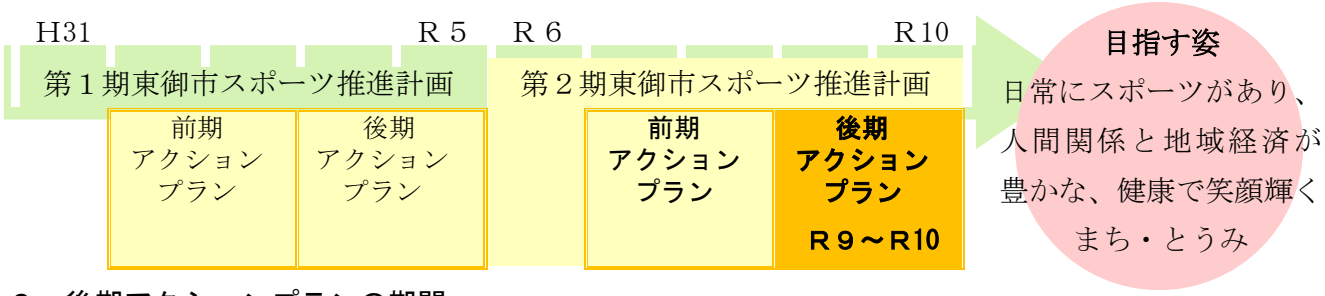
このため、施策の進捗状況や社会情勢の変化等に柔軟に対応するため、前期（令和７～８年度）、後期（令和９～10年度）からなる目標の達成のための具体的な行動計画となるアクションプランを定め、必要に応じて適宜見直しを行うものとします。

Ⅱ　後期アクションプランの策定について

１　後期アクションプラン策定の趣旨

推進計画に掲げた基本目標を実現していくためには、理念を踏まえつつ、その時々の社会情勢等に的確に対応し、重点的に行うべき取組みや優先度の高い取組みについて、効果的かつ効率的に実施していくことが必要です。

このため、令和７年度と令和８年度の２か年を計画期間として策定した前期アクションプランの成果や課題を踏まえ、令和９年度と令和10年度を計画期間とした後期アクションプランを策定します。



２　後期アクションプランの期間

後期アクションプランの計画期間は、令和９年度（2027年度）と令和10年度（2028年度）の２年間とします。

３　後期アクションプランの推進方法

推進計画における基本目標を具体化するためには、子ども・子育て支援、健康づくり、高齢者・障がい者福祉や学校教育等々の分野の各種計画との整合性が極めて重要になります。

このため、行政内部における関連部局との連携を密にし、市民や関係団体が共通認識を持って総合的かつ計画的に取り組みます。

４　後期アクションプランの概要

後期アクションプランは、推進計画の実現に向け、前期アクションプランにおける取組成果や課題を踏まえた取組内容と具体的な事業を取りまとめています。

◇実施主体（取組み・事業を主体的に実施する部署）が実施する個別の取り組みについては、アクションプランの展開、アクションプランの取組み（事業）内容（個票）に示しています。

◇推進計画における取組み状況を把握しやすく、また、的確に進捗管理ができるよう、基本目標に紐づけて構成し着実な事業執行を目指します。

◇各年度のスポーツ行政の実行指針となり、前期アクションプランで示す具体的取組み（事業）（個票）の達成により推進計画の実現を図ります。

◇実施主体及び連携先が市民をはじめ、スポーツ関係団体、専門機関、企業等の幅広い主体と協働しながら取組みます。

５　後期アクションプランの進捗管理

実施主体が各取組（事業）の成果や達成度、課題について点検・評価及び分析を行い、その結果を次年度以降のアクションプランへ反映させることで、実効性のある進捗管理をするものとします。

また、点検・評価の客観性を確保するため、東御市スポーツ推進審議会に諮り、目標達成状況等について専門的見地からの意見を求めます。その意見を踏まえ、必要に応じて事業内容の見直しを行うことで、より効果的かつ効率的な施策の推進を図ります。

６　ＳＤＧｓの達成に向けた位置づけ

本計画は、スポーツ推進計画に掲げた基本目標に即した具体的な取組みを示したものです。よって、スポーツ推進計画に掲げる施策と特に関連するＳＤＧｓの目標を下表のとおり紐づけ、本計画の推進がＳＤＧｓの目標達成に資するものとして位置付けます。

基本目標	特に関連するＳＤＧｓの目標
【基本目標１】 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成	
【基本目標２】 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実	 
【基本目標３】 スポーツによる地域経済の活性化	
【基本目標４】 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上	

	保健	**【目標3】あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。** 住民の健康維持は自治体の保健福祉行政の根幹です。国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことが住民の健康状態の維持・改善に必要であるという研究も報告されています。
	経済成長と雇用	**【目標8】包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。** 自治体は経済成長戦略の策定を通して地域経済の活性化や雇用の創出に直接的に関与することができます。また、勤務環境の改善や社会サービスの制度整備を通して労働者の待遇を改善することも可能な立場にあります。
	不平等是正	**【目標10】各国内及び各国間の不平等を是正する。** 年齢、性別、障がい、国籍などに関係なく誰もが活躍できる包摂的(インクルーシブ)なまちづくりの推進を通して、地域における社会的な格差や差別の解消に直接的に関与し、多様性が尊重される地域社会を構築します。
	まちづくり	**【目標11】包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。** 都市計画の策定等を通して、安全で快適な生活基盤の確保や持続可能なまちづくりに直接的に関与します。また、地域コミュニティの活性化、自然・文化環境の保全を通して、住民が将来にわたって愛着を持って住み続けられる魅力的な地域社会を構築することも重要です。
	実施手段	**【目標17】持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。** 自治体は公的／民間セクター、市民、NGO／NPOなどの多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進を担う中核的な存在になり得ます。持続可能な世界を構築していく上で多様な主体の協力関係を築くことは極めて重要です。

Ⅲ　第２期スポーツ推進計画　前期アクションプランの検証

１　４つの基本目標の評価

基本目標１は子どもたちの育成のための支援、基本目標２は「総合型地域スポーツクラブ Sany TOMI」の活動やユニバーサルスポーツの推進、基本目標３はスポーツツーリズムによる地域の活性化、基本目標４はトップアスリートとの交流などの実施から、一定の成果が得られたものと評価しています。

基本目標	評価
１ 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成 子どもたちが生涯を通じてスポーツに親しむきっかけとなるよう、外遊びや、学校体育、スポーツ活動への支援を行いスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。	**A**
２ 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実 さまざまなライフステージに応じたスポーツ活動ができるよう、スポーツ機会の創出、活動の支援、それらを支える人づくりによって生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。	**B**
３ スポーツによる地域経済の活性化 **恵まれたスポーツ環境等を積極的に活用し、交流人口の増加を図るとともに地域経済の活性化を図ります。**	**A**
４ 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上 より高みを目指す人々を支え、導く体制等を整えるとともにアスリートとの交流機会の創出を図ります。	**A**

基本目標ごとに平均点を算出した結果により評価しています。（評価Ｓ＝５点　Ａ＝３点以上　Ｂ＝１点以上）

２　前期アクションプランにおける実施主体の具体的な取組み（事業）の評価

基本目標	基本施策、個別施策及び取組名	評価点
基本目標１ 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成	１－１　運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり	
	①運動遊び・自然体験活動等による保育・幼児教育の充実	
	運動能力測定を活用し、遊びを通じた幼児期の怪我のない身体づくり	３点
	１－２　小学期のスポーツへの円滑な接続	
	①学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援	
	体力・運動能力等調査への専門的支援	１点
	放課後子ども教室事業の安定的な実施	５点
	１－３　中学生期のスポーツニーズへの対応	
	①望ましい運動部活動のための支援体制づくり	
	運動部活動への支援体制づくり	３点
	②中学でのスポーツ離れを防ぐための「ゆる部活・ゆるスポーツ」等の定着	
	「ゆるスポーツクラブ」の継続実施	５点
	基本目標の評価	**３.４点**

基本目標	基本施策、個別施策及び取組名	評価点
基本目標２ 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実	２－１　青壮年期のスポーツ活動の促進	
	①働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進	
	働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進	３点
	②積極的な情報発信	
	市内スポーツ関係団体の連携及び情報提供	１点
	２－２　スポーツ施設（ハード）の活用	
	①いつでも、どこでも、だれでも楽しめる場の提供	
	遊休施設、低利用施設の有効活用	３点
	２－３　地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実	
	①スポーツ推進委員活動の強化	
	スポーツ推進活動の促進	１点
	②スポーツ協会活動充実への支援	
	スポーツ推進活動の促進	１点
	③総合型地域スポーツクラブの支援	
	総合型地域スポーツクラブSanyTOMIの安定的な運営	５点
	２－４　スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり	
	①身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実	
	フレイル予防	１点
	②障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツを活用した交流事業	
	ボッチャに関する活動及び人材育成	５点
	基本目標の評価	**２.５点**
基本目標３ スポーツによる地域経済の活性化	３－１　スポーツツーリズムの推進	
	①地域スポーツコミッションの支援	
	「地域スポーツコミッション」の運営支援	１点
	②湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入	
	スポーツツーリズムイベントの開催	５点
	３－２　スポーツを活かした地域の活性化	
	①産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積	
	知見蓄積のためのデータ集積・分類・分析	３点
	②専門機関等とのサポート連携協定の推進	
	大学等との包括連携協定による地域スポーツ環境の充実	３点
	基本目標の評価	**３.０点**

基本目標	基本施策、個別施策及び取組名	評価点
基本目標４ 競技スポーツ人口の拡大と競技力向上	４－１　スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続	
	①トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供	
	トップアスリートとの交流イベント開催	３点
	４－２　高みを目指す人々への支援	
	①競技レベルに応じた練習環境の充実	
	子どもたちの競技力向上	１点
	基本目標の評価	**３.０点**

評価に当たっては、31ページの「前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート」の基準値に対しての令和７年度実績により、評価点を算出しています。

評価方法　「５点」・・・目標以上に実施、目標以上の効果を上げた実施

「３点」・・・目標どおりに実施

「１点」・・・一部目標未達成、目標以下の効果で実施

「０点」・・・大部分目標未達成

３　前期アクションプランにおける各取組み（事業）の評価と方向性

（１）前期アクションプランの評価

推進計画における前期アクションプラン19事業について、実施主体により成果、達成度を評価分析した結果、５点：５事業、３点：７事業、１点：７事業、０点：０事業と評価結果をまとめています。

評価区分「５点」「３点」が半数以上を占めることから、総じて前期アクションプランは各種事業の展開により成果が得られていると評価することができます。ただし、「１点」が７事業あった事を踏まえ、進捗管理指標を定める必要があります。

（２）基本目標の達成に向けた後期アクションプランの方向性

基本目標ごとの評価において、Ａ評価となった基本目標１、基本目標３及び基本目標４については、各目標に掲げる「生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成」「スポーツによる地域経済の活性化」「競技スポーツ人口の拡大と競技力向上」の継続的な実現に向けて、引き続き取り組みます。

Ｂ評価となった基本目標２については、少子高齢化や趣味嗜好の多様化等、社会環境の変化に対応し、市民が継続的にスポーツに親しめる環境を整備できるよう、「誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実」に向け、連携先とのさらなる連携強化を図ってまいります。

また、事業評価に基づき、未達成事業については見直しを図るなど、効果的・効率的な事業運営に努めます。

４　取組み（事業）の展開

後期アクションプランは、「目指す姿」を見据えた後半２年間の計画として、推進計画に規定する基本目標及び個別施策に紐づけたものと強化及び継続すべき取組み（事業）をそれぞれ掲げます。

なお、それぞれの実施主体が行う具体的な取組み（事業）は、推進計画に規定する基本目標及び個別施策に紐づけて設けており、12ページ以降に記載しています。

Ⅳ　実施主体による具体的取組み（事業）

１　取組み（事業）の構成

推進計画は、４つの基本目標に11の施策方針、更には、18の個別施策で構成されています。個別施策は、目標を達成するための取組み（事業）の方向性であり、方向性に沿った具体的な取組み（事業）を効果的かつ効率的に執行するために、後期アクションプランでは、前期アクションプランの課題を踏まえ、令和９年から令和10年の２年間で各実施主体が実施する18の具体的な取組み（事業）を示し、それぞれの個票にまとめています。

なお、個票は、推進計画における基本目標及び基本施策に準じて構成しています。

【個票の見方】

<table>
<tr><td rowspan="2">NO.</td><td>基本目標</td><td>基本施策</td><td>個別施策</td><td>実施主体</td><td>取組み（事業）を主体的に実施する部署</td></tr>
<tr><td>●</td><td>●－○</td><td>◎</td><td>連携先</td><td>取組み（事業）実施に当たり連携して行う機関等</td></tr>
<tr><td>基本施策</td><td colspan="5">推進計画で規定した名称</td></tr>
<tr><td>個別施策</td><td colspan="5">基本施策に基づいた施策の具体的な方向性で推進計画に規定</td></tr>
<tr><td>取組名</td><td colspan="5">個別施策に基づき事業実施主体の担当部署の取組み名称</td></tr>
<tr><td>取組の概要</td><td colspan="5">〈目的･狙い〉
施策の課題等に対応する当該取組の目的･狙い

〈取り組み内容〉
施策の課題等に対応する当該事業の内容</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td colspan="5">市が取組の実施にあたり直接働きかける人やもの</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業目標</td><td colspan="5">指標</td></tr>
<tr><td colspan="5">アクションプラン計画期間内に達成すべき状態や目標値</td></tr>
</table>

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1									
		2									
	成果指標	1									
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

※数値目標：事業目標の達成に向け、目標を数値化したもの
※基準値：後期アクションプランが策定された令和7年度の事業の状況（数値）
※目標値：後期アクションプラン最終年度の事業の目標値
※令和8年度：前期アクションプランの進捗管理指標としたもの以外は「－」
※進捗管理指標：後期アクションプランの期間内の各年度の取組指標・活動指標・成果指標（指標が2つある場合は2行目に記入）

2　取組み（事業）の内容（個票）

基本目標1　生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	保育課
	1	1−1	①	連携先	身体教育医学研究所
基本施策	運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり				
個別施策	運動遊び・自然体験活動等による保育・幼児教育の充実				
取組名	運動能力測定を活用し、遊びを通じた幼児期の怪我のない身体づくり				
取組の概要	〈目的・狙い〉 健康的な生活習慣を子どもたちに定着させるため、体を動かして遊ぶことの楽しさを「運動遊び」により、また、地域資源を活用した屋外活動や地域との交流活動を「信州型自然保育」により推進します。 〈取り組み内容〉 身体教育医学研究所による保育園での園児の体力運動能力の測定、分析を行い、子どもの筋力が少ない部分を特定し、結果をフィードバックする。				
対象者	園児				
事業目標	指標				
	検証の積み重ね、長期的かつ継続的な実施				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	結果分析を含む保育士向け実践研修	−	3	−	−	2		3	
		2	保護者向け啓発活動の実施	−	1	−	−	1		1	
	成果指標	1	幼児運動能力測定における評価のうち、低評価に該当する園児の割合	走力:25% 投力:28.1% 跳力:26.5% 支力:32.9%	走力:20% 投力:20% 跳力:20% 支力:30%	−	−	走力:22% 投力:24% 跳力:23% 支力:31%		走力:20% 投力:20% 跳力:20% 支力:30%	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標1　生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	教育課
	1	1−2	①	連携先	身体教育医学研究所
基本施策	小学生期のスポーツへの円滑な接続				
個別施策	学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援				
取組名	体力・運動能力等調査への専門的支援				
取組の概要	〈目的・狙い〉 国が実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、本市の児童生徒の体力・運動能力の状況を正確に把握し、施策の成果と課題を的確に捉えることからその改善を図るとともに、子どもたちの体力の向上に向けた継続的な検証改善サイクルを確立します。 〈取り組み内容〉 毎年度、児童（小学5年生）及び生徒（中学2年生）を調査対象として実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、身体教育医学研究所、スポーツ推進委員による連携を図った指導により、各種調査の正確な実施を徹底し、全国平均値を上回る結果が得られるよう努める。				
対象者	小中学校教員 児童生徒				
事業目標	指標				
	調査結果をもとにした運動能力の課題を克服 体力テストの平均点の向上				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	調査回数	1	1	1		1		1	
		2									
	成果指標	1	小5年生の体力テスト合計平均点	男子 50.29 女子 52.19	男子 52.60 女子 54.29	−		男子 52.60 女子 54.29		男子 52.60 女子 54.29	
		2	中2年生の体力テスト合計平均点	男子 44.09 女子 47.62	男子 41.18 女子 47.08	−		男子 41.18 女子 47.08		男子 41.18 女子 47.08	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標1　生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	教育課
	1	1−2	②	連携先	総合型地域スポーツクラブ スポーツ推進委員
基本施策	小学生期のスポーツへの円滑な接続				
個別施策	学校体育及び教科外･放課後活動充実のための専門的支援				
取組名	放課後子ども教室事業の安定的な実施				
取組の概要	〈目的･狙い〉 「げんき塾」を活用して小学生期に身近な場所でスポーツに親しむ元気な子供の育成と児童の放課後を安心安全に過ごせる環境整備を兼ね、放課後に地域住民の参画を得て学校施設等を活用した様々な体験･交流活動プログラムを提供することでスポーツによる達成感を知り、スポーツの習慣化、競技スポーツへの接続及び生涯スポーツへのきっかけの場とします。 〈取り組み内容〉 放課後子ども教室「げんき塾」の開催				
事業目標	指標				
	事業の継続実施及び参加者数増加による定着				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	教室実施回数	25	25	ー		25		25	
		2									
	成果指標	1	参加者（1回当たりの平均参加者）人数	28.8	30	ー		29		30	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標1　生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成

乳幼児期からの地域特有の自然環境を活用した「外遊び」を中心とし、運動遊びから得る「楽しさ」を通じて幼児期に育むべき志向・能力の向上を目指します。また、幼児期から学齢期までの継続的なスポーツの機会を通じて、子どもたちがスポーツの意義・価値を実感でき、生涯スポーツへのきっかけとなるように学校体育やスポーツ活動への支援を行うことでスポーツ機会の充実と体力向上を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課 教育課
	1	1−3	①	連携先	スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ
基本施策	中学生期のスポーツニーズへの対応				
個別施策	望ましい運動部活動のための支援体制づくり				
取組名	運動部活動への支援体制づくり				
取組の概要	〈目的・狙い〉 活動を地域に移行するための対応が迅速に行えるよう、学校や、教育委員会、地域、企業、市、関係団体等が一体となった協力体制を整え、各学校・各運動部活動や地域の実情にあった環境づくり・体制づくりを推進します。 〈取り組み内容〉 部活動の地域展開に向けた支援体制をつくります。				
対象者	市内生徒				
事業目標	指標				
	部活動の地域展開				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	会議開催回数	2	3	ー		3		3	
		2									
	成果指標	1	部活動地域展開の受入れクラブ数	2	8	ー		6		8	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。
よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課 健康推進課
	2	2－1	①	連携先	総合型地域スポーツクラブ
基本施策	青壮年期のスポーツ活動の促進				
個別施策	働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進				
取組名	働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進				
取組の概要	〈目的・狙い〉 働き盛り世代が日常的にスポーツに取組めるよう、スポーツの必要性や効果的な運動を紹介する等、スポーツ活動に親しみ楽しめる環境づくりを支援します。 〈取り組み内容〉 企業や地域が行う健康事業やスポーツ事業と連携し、スタッフ派遣等を行う。				
対象者	市民、市内在勤者				
事業目標	指標				
	企業や地域への派遣によるスポーツの普及				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	スポーツの普及活動回数	1	1	1		1		1	
		2									
	成果指標	1	週1回以上、継続的に運動をしていると回答する割合％	58.7	60	ー		59		60	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。
よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	2	2－1	②	連携先	スポーツ協会、身体教育医学研究所 総合型地域スポーツクラブ
基本施策	青壮年期のスポーツ活動の促進				
個別施策	積極的な情報発信				
取組名	市内スポーツ関係団体の連携及び情報提供				
取組の概要	〈目的・狙い〉 スポーツ関係団体同士の連携を強化し、スポーツに興味を持った人が求める情報にたどり着けるよう提供する。 〈取り組み内容〉 市報、ホームページ、SNS等を有効的に活用し、情報発信の充実を図る。 会議の開催により、スポーツ関係団体同士の連携を強化する。				
対象者	市民				
事業目標	指標				
	動画の配信や市内スポーツ関係団体の連携による積極的な情報提供				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	連携会議回数	10	10	10		10		10	
		2	動画配信回数	―	18	―		16		18	
	成果指標	1	市公式YOUTUBE（運動）動画閲覧者数平均	727	800	―		750		800	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。
よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	2	2－2	①	連携先	スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ
基本施策	スポーツ施設等（ハード）の整備と活用				
個別施策	いつでも、どこでも、だれでも楽しめる場の提供				
取組名	遊休施設、低利用施設の有効活用				
取組の概要	〈目的・狙い〉 多様化するニーズに沿い、遊休施設や低利用施設などの既存の施設を有効活用して、誰もが気軽に楽しめるスポーツ環境を整備します。 〈取り組み内容〉 遊休施設や低利用施設の活用を検討 スポーツの需要等の研究				
対象者	市民				
事業目標	指標				
	スポーツニーズや活用についての調査・研究				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	新規活用調査・研究回数（通年）	1	1	－		1		1	
		2									
	成果指標	1									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。
よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	2	2－3	①	連携先	スポーツ推進委員
基本施策	地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実				
個別施策	スポーツ推進委員活動の強化				
取組名	スポーツ推進活動の促進				
取組の概要	〈目的・狙い〉 スポーツ推進委員は、スポーツの推進に関する情報発信や市民へのスポーツの実技の指導や助言を行うとともに、市民や行政、スポーツ関係団体との連携や多様な組織・団体と幅広いネットワークを築き、地域のスポーツコーディネーターとしてスポーツ活動の幅を広げる活動を行います。 〈取り組み内容〉 ・各種研修会へスポーツ推進委員を派遣し、専門的な知識や技術の習得を図る。 ・地域スポーツを支える組織基盤としてより一層の組織強化を図る。 ・地域スポーツ振興の推進役、行政と市民とのつなぎ役として、独自の企画、運営によるイベントやスポーツ推進に取り組む。				
対象者	スポーツ推進委員・市民				
事業目標	指標				
	市民に対し、スポーツに触れ合うきっかけづくりの場を提供する。				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	イベント開催回数	3	3	3		3		3	
		2	委員派遣回数	50	65	―		60		65	
	成果指標	1	イベント参加者数	350	400	―		375		400	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。
よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	2	2－3	②	連携先	スポーツ協会
基本施策	地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実				
個別施策	スポーツ協会活動充実への支援				
取組名	スポーツ推進活動の促進				
取組の概要	〈目的・狙い〉 特定非営利活動法人東御市スポーツ協会と連携して、市民の主体的なスポーツ活動を促進します。また、スポーツ協会へは、目的を明確にした事業委託と適正な財政的支援を行うことで、加盟団体の普及活動や指導者の育成、競技力の向上等の取組みを促進します。 〈取り組み内容〉 スポーツ教室や各種のスポーツの関係団体の活動に関して積極的な周知を行い、市民がスポーツを気軽に始められるような環境を作る。				
対象者	スポーツ協会・市民				
事業目標	指標				
	スポーツ競技者数の増加				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	スポーツ人材バンク登録者数	21	24	ー		23		24	
		2	スポーツ教室の実施回数	495	467	467		467		467	
	成果指標	1	競技者数	628	680	ー		670		680	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。
よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	2	2－3	③	連携先	総合型地域スポーツクラブ
基本施策	地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実				
個別施策	総合型地域スポーツクラブの支援				
取組名	総合型地域スポーツクラブSanyTOMIの安定的な運営				
取組の概要	〈目的・狙い〉 “子どもたちの健全な育ちを応援する”を基本姿勢に、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」地域のみんなが気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができるスポーツ活動により、誰もが健康でいきいきと暮らせる活力と魅力あるまちづくりに寄与することを目指します。 〈取り組み内容〉 総合型地域スポーツクラブSanyTOMIの会員を増やし地域住民のスポーツ関係人口増を目指すため、多くの方が興味を持てるプログラム展開を行い安定した運営に努める。				
対象者	総合型地域スポーツクラブ・市民				
事業目標	指標				
	自主財源の確保				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	会員制プログラム開催回数	4	5	5		5		5	
		2	会員数	146	180	－		160		180	
	成果指標	1	自主財源の割合％	73.9	85	－		80		85	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標2　誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実

年齢、性別、障がいの有無等を問わず、誰もが自分のライフステージに応じたスポーツ活動に取組めることは、生涯を通して幸福で豊かな生活を営むための基盤です。
よって、働き盛り・子育て世代のスポーツ活動の習慣化、健康長寿社会、ユニバーサル社会の実現のために、スポーツ活動を支える人づくりや、環境整備等によってさまざまなライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、生涯にわたる地域スポーツの振興を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	2	2－4	①	連携先	みんなの健康×スポーツ実行委員会
基本施策	スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり				
個別施策	障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツを活用した交流事業				
取組名	公民館でのボッチャ活動、ボッチャルールの浸透				
取組の概要	〈目的・狙い〉 障がいのある方もない方も共にスポーツを「する」機会を提供し、参加者の皆が達成感や一体感を得て、誰もが身近に運動・スポーツに親しめるようにすることで、ユニバーサルな地域の実現の一助となるよう取組みます。 〈取り組み内容〉 ・地区公民館等における審判講習会等の開催による人材育成 ・オープン戦の開催				
対象者	市民				
事業目標	指標				
	交流会・審判講習会等機会の数				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	審判等研修開催回数	5	5	－		5		5	
			審判等研修参加者数	107	120	－		110		120	
	成果指標	1	オープン戦参加者人数	643	628	－		628		628	
		2	交流会等回数	9	11	－		10		11	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標3　スポーツによる地域経済の活性化

本市の強みである湯の丸高原高地トレーニング施設を起爆剤として、官民が一体となり、スポーツ合宿の誘致、観光と連動したスポーツツーリズムを推進することで、知名度の向上や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課 商工観光課
	3	3−1	①	連携先	スポーツコミッション
基本施策	スポーツツーリズムの推進				
個別施策	地域スポーツコミッションの支援				
取組名	「地域スポーツコミッション」の運営支援				
取組の概要	〈目的・狙い〉 地域の活性化のため、スポーツ団体、企業（スポーツ産業、観光産業）、市等が一体となり、スポーツを観光資源とした新たなイベントの開催、スポーツ合宿誘致等のスポーツツーリズムに取組むため、そのマネジメント機能を果たす（一社）とうみ湯の丸高原スポーツコミッションの活動を支援します。 〈取り組み内容〉 1　湯の丸高原全体の内部統制機能の構築 ①合宿・施設利用の受付／問合せ一本化、②各施設（宿泊、食事、施設）に関する意見収集、評価／分析、③スポーツ合宿の全体統制やPR活動等に関わる予算管理 2　組織の経営的自立（来訪者の増加/維持） ①高い専門性とマーケティング力を持つ人材の確保、②プロモーション活動、③スポーツを核とした幅広い事業（イベント等）の企画／運営、④組織の収益源の確保				
対象者	合宿・イベント等の来訪者				
事業目標	指標				
	①湯の丸高原宿泊客リピート率（再訪率） ②湯の丸地域内消費額（飲食・買い物等）のアップ				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	湯の丸高原入込客人数	5,025	6,153	6,094		6,153		6,153	
		2	スポーツ合宿延べ宿泊客人数	14,340	16,000	15,000		15,500		16,000	
	成果指標	1	リピート率％（再訪率）	85	90	―		88		90	
		2	地域内消費額（飲食・買い物等）のアップ率％	―	10	―		8		10	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標3　スポーツによる地域経済の活性化

本市の強みである湯の丸高原高地トレーニング施設を起爆剤として、官民が一体となり、スポーツ合宿の誘致、観光と連動したスポーツツーリズムを推進することで、知名度の向上や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	3	3－2	①	連携先	スポーツコミッション
基本施策	スポーツを活かした地域の活性化				
個別施策	産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積				
取組名	知見蓄積のためのデータ集積・分類・分析				
取組の概要	〈目的・狙い〉 湯の丸高原の高地トレーニングのポテンシャルを最大限に活かすため、専門機関と連携して検証、分析を行います。 〈取り組み内容〉 トレーニングの効果や経済波及の効果等の検証を行う。				
対象者	利用者				
事業目標	指標				
	データ集積による課題把握後の改善件数				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	データ集積人数	52	100	80		100		100	
		2	タイアップ事業件数	3	5	5		5		5	
	成果指標	1	集積したデータの分析に基づく年度当たり課題改善件数	－	1	－		1		1	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標4　競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

地元の選手が大きな舞台で活躍する姿は、観るものに感動と勇気を与えるばかりでなく、地域に元気とスポーツへの興味を生み出します。
将来、国内トップレベルとなる選手を本市から輩出するため、指導者の育成、学校部活動の体制整備を進め、競技スポーツ人口の拡大と競技力の向上に向けて取組みます。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	4	4−1	①	連携先	スポーツコミッション
基本施策	スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続				
個別施策	トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供				
取組名	トップアスリートとの交流イベント開催				
取組の概要	〈目的・狙い〉 高地トレーニング施設整備により湯の丸高原スポーツ交流施設での合宿者をきっかけとして、国内トップレベルのアスリート及び指導者を招聘し、交流の機会を設け、アスリート及び指導者の競技力向上に向けた取組み姿勢、練習方法、指導方法等に直接触れることでのレベル向上を図ります。 〈取り組み内容〉 ・練習見学 ・指導者及び選手との触れ合いイベントの開催				
対象者	競技者、指導者（保護者含む）				
事業目標	指標				
	トップアスリートとの交流イベントによるスポーツ実施意欲の醸成				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	交流イベントの開催回数	2	2	2		2		2	
		2									
	成果指標	1	参加者人数	228	250	ー		240		250	
		2									
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

基本目標4　競技スポーツ人口の拡大と競技力向上

地元の選手が大きな舞台で活躍する姿は、観るものに感動と勇気を与えるばかりでなく、地域に元気とスポーツへの興味を生み出します。
将来、国内トップレベルとなる選手を本市から輩出するため、指導者の育成、学校部活動の体制整備を進め、競技スポーツ人口の拡大と競技力の向上に向けて取組みます。

NO.	基本目標	基本施策	個別施策	実施主体	文化・スポーツ振興課
	4	4－2	①	連携先	総合型地域スポーツクラブ
基本施策	高みを目指す人々への支援				
個別施策	競技レベルに応じた練習環境の充実				
取組名	子どもたちの競技力向上				
取組の概要	〈目的・狙い〉 市内学校では屋外プールしか保有しておらず、練習時期が限定的となっていしまうことから、湯の丸にある屋内プールを有効活用し子どもたちの競技力向上を目指します。 また、活用するにあたって地域の中から指導者を発掘することで地域において育てられる環境を整備します。 〈取り組み内容〉 ・中高生が湯の丸にある屋内プールを定期的に利用できる環境の構築				
対象者	競技者、指導者（保護者含む）				
事業目標	指標				
	スポーツ体験会開催によるもっと上手くなりたい、自信がついた参加者の（自己効力感）の割合向上				

数値目標				基準値（R7）	目標値（A）	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
						計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）	計画値	実績値（B）
進捗管理指標	活動指標	1	体験会の実施回数	18	30	20		25		30	
		2									
	成果指標	1	もっと上手くなりたい、自信がついた参加者（自己効力感）の割合％	－	70	－		60		70	
予算額				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

Ⅴ　前期アクションプランにおける取組（事業）の進捗管理評価シート

基本目標	基本施策	個別施策	取組名	進捗管理指標	基準値	令和7年度実績	評価点	評価説明	評価に対する意見・要望等
基本目標1 生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成	1－1 運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり	①運動遊び・自然体験活動等による保育・幼児教育の充実	運動能力測定を活用し、遊びを通じた幼児期の怪我のない身体づくり	結果分析・共有 結果のフィードバック	1件 1件	1件 1件	3	保育園での園児の体力運動能力の測定、身体教育医学研究所による分析を行い、結果を保護者にフィードバックした。	
	1－2 小学生期のスポーツへの円滑な接続	①学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援	体力・運動能力等調査への専門的支援	調査回数 小中学生の体力テスト合計点平均	1 小5年生　男子52.33　女子 54.47 中2年生　男子42.56　女子 47.00	1 小5年生　男子 50.29　女子 52.19 中2年生　男子 44.09　女子 47.62	1	身体教育医学研究所、スポーツ推進委員による連携を図り、各種調査の正確な実施を徹底し、適正な調査結果が得られるよう努めた。	
			放課後子ども教室事業の安定的な実施	実施回数 平均参加者数	20回 25.7人	25回 28.8人	5	放課後子ども教室「げんき塾」をより多く開催し、平均参加者数も基準値を上回った。	
	1－3 中学生期のスポーツニーズへの対応	①望ましい運動部活動のための支援体制づくり	運動部活動への支援体制づくり	会議開催数	2回	2回	3	活動の地域移行に向けた会議を開催し、支援体制の構築に向けた検討を行った。	
		②中学でのスポーツ離れを防ぐための「ゆる部活・ゆるスポーツ」等の定着	「ゆるスポーツクラブ」の継続実施	実施回数 平均参加者数	9回 3.1人	10回 8.1人	5	総合型地域スポーツクラブの指導者等が実施主体となり、通年開催した。	
						平均	3.4		
基本目標2 誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実	2－1 青壮年期のスポーツ活動の促進	①働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進	働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進	スポーツの普及活動回数	1回	1回	3	地域が行う健康事業・スポーツ事業と連携し、スタッフ派遣を行った。	
		②積極的な情報発信	市内スポーツ関係団体の連携及び情報提供	連携会議数 情報提供回数	24回 2回	10回 2回	1	関連団体と連携を図ることで、事業実施における情報共有を円滑に行うことができた。	
	2－2 スポーツ施設（ハード）の活用	①いつでも、どこでも、だれでも楽しめる場の提供	遊休施設、低利用施設の有効活用	調査・研究	1件	1件	3	遊休施設や低利用施設の活用を検討しました。	
	2－3 地域スポーツ活動組織・人材等（ソフト）の充実	①スポーツ推進委員活動の強化	スポーツ推進活動の促進	イベント開催数・人数 講習会実施回数・人数	3回・700人 6回・60人	3回・350人 6回・70人	1	市民に対し、スポーツに触れ合うきっかけづくりの場を提供することを目的に、イベント・講習会を予定通り開催した。	
		②スポーツ協会活動充実への支援	スポーツ推進活動の促進	スポーツ教室参加人数・実施回数	658人・467回	628人・495回	1	市民の主体的なスポーツ活動の促進や、スポーツ機会の安定的な受け皿となっている。	
		③総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブSanyTOMIの安定的な運営	会員制プログラム開催回数・会員数	4回・79人	5回・146人	5	会員数や開催プログラムが増加していることにより、より多くの方が運動に関わる機会創出に繋がった。	
	2－4 スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり	①身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実	フレイル予防	フレイル予防教室開催数	55回	51回	1	高齢者のフレイル（虚弱）予防のための健康教育とフレイルの早期発見を行う教室を開催した。	
		②障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツを活用した交流事業	ボッチャに関する活動及び人材育成	審判講習会等実施回数・人数	2回・159人	9回・643人	5	各地区公民館においてボッチャコートを設置することで、ボッチャ普及への環境整備を行った。	
						平均	2.5		
基本目標3 スポーツによる地域経済の活性化	3－1 スポーツツーリズムの推進	①地域スポーツコミッションの支援	地域スポーツコミッションの運営支援	湯の丸高原入込客数 スポーツ合宿延べ宿泊数	5,916人 13,175人	5,025人 14,340人	1	スポーツ合宿の全体統制やスポーツ合宿誘致等PR活動等によりスポーツツーリズムに取組んだ。	
		②湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入	スポーツツーリズムイベントの開催	イベント開催数 参加者数	2回 122人	2回 228人	5	陸上、水泳のスポーツツーリズムイベントの開催を実施し、基準値を上回る結果となった。	
	3－2 スポーツを活かした地域の活性化	①産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積	知見蓄積のためのデータ集積・分類・分析	データ集積人数	-	52人	3	高地トレーニングの適地である標高1,750mに位置する湯の丸高原スポーツ交流施設でのトレーニング効果等の検証を行った。	
		②専門機関等とのサポート連携協定の推進	大学等との包括連携協定による地域スポーツ環境の充実	タイアップ事業数	3件	3件	3	高地トレーニングに関する調査・共同研究を関係機関と実施した。	
						平均	3.0		
基本目標4 競技スポーツの競技人口の拡大と競技力の向上	4－1 スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続	①トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供	トップアスリートとの交流イベント開催	交流イベントの開催回数 参加者数	2回 136人	2回 194人	5	国内トップレベルのアスリート及び指導者を招聘し、交流の機会を設け、アスリート及び指導者の競技力向上に向けたイベントを実施した。	
	4－2 高みを目指す人々への支援	①競技レベルに応じた練習環境の充実	子どもたちの競技力向上	体験会の実施回数	30回	18回	1	中高生が湯の丸にある屋内プールを定期的に利用できる環境構築をしたが、回数が基準値に達しなかった。	
						平均	3.0		

評価方法
「5点」・・・目標以上に実施、目標以上の効果を上げた実施　「3点」・・・目標どおりに実施　「1点」・・・一部目標未達成、目標以下の効果で実施　「0点」・・・大部分目標未達成　「0点」・・・やむを得ず中止
※この様式は、次年度以降、必要に応じて内容を変更する場合があります。

東御市 企画振興部 文化・スポーツ振興課 スポーツ係
TEL：0268-75-1455　FAX：0268-63-5431
Email:sports@city.tomi.nagano.jp